

# 総合学科ってどんな学科？ 標茶高校ってどんな総合学科？

**その1** 単位制と異なり、それぞれの学校に特徴となる専門教育の分野があります。

(例) 農業、商業、工業、家庭、情報などの専門科目が充実しています。

**つまり** 進学や一般教養だけでなく、産業社会に直結する知識や技能を身に付けることができます。

**期待する生徒像**＝さまざまな専門科目を履修して、幅広く産業社会について理解しようと考えたり、特定の専門分野について深く勉強し、検定取得など将来の就職に備えたいと考えている生徒

＜標茶高校では＞

異文化理解、パブリックスピーキング、生活と福祉、自然ガイド、湿原の科学、北海道の自然、農業機械、畜産実習、食品製造、食品化学、園芸作物など、「人」に関わる学び、「自然」に関わる学び、「食」に関わる学びのための専門科目、学校設定科目が充実しています。

**その2** 受検時、入学時に学科やコースを決める必要がありません。

**つまり** 高校に入学してからじっくりと社会を知り、自分を知って進路を考え、そのために必要な選択科目を2年次、3年次で選択することができます。

**期待する生徒像**＝高校に入ってから真剣に進路を考えたいと考えている生徒

＜標茶高校では＞

1年次に「産業社会と人間」という授業などをとおして、職業観を育み、自己理解を進め、社会との関わり方の学びをとおして2年次以降の科目選択を決めていきます。標茶高校では特に、職場見学や進路ガイダンスのための時間を十分に確保し、体験、シェアリング、発表といった表現力の習得に力を入れています。

**その3** それぞれの総合学科の特徴を表す「系列」は、コースや学科ではないので、系列にこだわらずに科目を選択することができます。

**つまり** 進路実現のためだけの科目ではなく、興味関心に対応した科目や、生き方にかかわる科目を選択して、価値観の醸成を企図することもできます。

**期待する生徒像**＝目の前の目標だけでなく、長期的に必要となる、人や社会の中で「生き抜く力」を身に付けたいと考えている生徒

＜標茶高校では＞

すべての生徒が「農業と環境」という授業で自分の手で食物を育て、食べる体験、川の水質と生物との関係について実際に調査する体験をとおして「いのち」を巡る人間としての「在り方」に触れ、2年次からは、「人」に関わる学びを重視する「文化理解系列」、「自然」に関わる学びを重視する「地域環境系列」、「食」に関わる学びを重視する「酪農・食品系列」で用意している専門科目、学校設定科目から必要な科目を選択するとともに、どの系列からでも選択できる「自由選択科目群」から、進学、就職など「生き方」に応じた科目を選択することができます。

**その4** 生き抜く力を着実に身に付けるために、3年間を見通したキャリア教育を重視しています。

**つまり** 小学校、中学校で育ててきたキャリア教育で求められる4能力を完成させる教育活動を重視しています。

**期待する生徒像**＝受験学力だけでなく、生涯を通じて必要とされる、人や社会と繋がり、豊かな自己実現を果たしていきたいと考えている生徒

＜標茶高校では＞

すべての教科・科目においてどんな力を身に付けさせることを重視しているかについてシラバスで示すとともに、系列ごとに主管する諸行事やプロジェクトにおいても、身に付けさせる力を明確にするなど、キャリア教育の充実に全校挙げて取り組んでいます。

標茶高校では、地域振興に資するため、教育資源としての学校の活用を提案したり、地域行事への参加、地域行事の企画・運営への参加、地域資源の活用、福祉、観光に関する提案など、これからの標茶づくりや釧路圏域の活性化に、積極的に関わっています。

シマフクロウの森100年記念植樹、花いっぱい運動、町民開放農場、釧路湿原クリーンデイ、リバーサイド植樹、釧路養護学校交流会、釧路空港植栽事業、標茶アドベンチャースクール、町内清掃活動、JR遠矢駅、東釧路駅舎清掃活動、標茶音頭継承、グループホーム行事支援、標茶町フェア、釧路どんぱくなど標茶町PR事業、標茶町海外旅行者誘致活動、標茶町福祉運動会ボランティア、環境学習、食育プロジェクトなど小学校との連携事業、生産物販売会など

**地域を支える人材は地域の力で育てましょう！**